

宮古島市障がい福祉に関する  
アンケート調査より  
(単純集計結果の抜粋)

● ○ ● ○ ● ○ 目 次 ○ ● ○ ● ○ ●

■ 調査項目 ■ .....	1
■ 調査概要 ■ .....	2
1. 調査の目的 .....	2
2. 実施主体 .....	2
3. 調査対象者、配布方法 .....	2
4. 配布方法 .....	2
5. 調査期間 .....	2
6. 回収状況 .....	2
7. 調査票の回答者 .....	2
■ 調査結果より（抜粋／単純集計結果より） ■ .....	3
1. 年齢 .....	3
2. 一緒に暮らしている人 .....	3
3. 日常生活動作 .....	4
4. 介助者について .....	6
5. 介助者の年齢 .....	6
6. 手帳の所持状況 .....	7
7. 身体障がい者の障害部位 .....	7
8. 現在受けている医療ケア .....	8
9. 現在の暮らし .....	9
10. 将来の地域生活の意向 .....	10
11. 地域で生活するために必要な支援 .....	11
12. 外出頻度 .....	12
13. 外出時の同伴者 .....	12
14. 外出の目的 .....	13
15. 外出時に困ること .....	13
16. 日中の過ごし方 .....	14
17. 就労の状況 .....	14
18. 就労意向 .....	15
19. 職業訓練の受講の意向 .....	15
20. 障がい者の就労支援で必要なこと .....	16
21. 区分認定を受けているか .....	17

22. 障害福祉サービスの利用状況と利用意向	18
23. 障がい児サービスの利用状況と利用意向	21
24. その他のサービスの利用状況と利用意向	22
25. 相談先	23
26. 情報の入手方法	23
27. 差別を受けたこと	24
28. 差別を受けた場所	24
29. 成年後見制度の周知度	25
30. 災害時の避難	25
31. 近所に助けてくれる人はいるか	26
32. 災害時に困ること	26

## ■ 調査項目 ■

<p>&lt;基本属性等&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 調査票の回答者</li><li>2. 年齢</li><li>3. 性別</li><li>4. 地域</li><li>5. 同居</li><li>6. 日常生活ADL</li><li>7. 介護者は誰か</li><li>8. 介助者の年齢、性別、健康状態</li></ol> <p>&lt;障害の状況&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>9. 身体障害者手帳所持状況、等級</li><li>10. 身体障害の部位</li><li>11. 療育手帳の所持、判定</li><li>12. 精神障害者保健福祉手帳の所持、等級</li><li>13. 難病の有無</li><li>14. 発達障害の診断経験</li><li>15. 高次脳機能障害の診断有無</li><li>16. 医療ケアの内容</li></ol> <p>&lt;住まい、暮らし&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>17. 世帯、住まい</li><li>18. 地域生活の意向</li><li>19. 地域生活に必要な支援</li></ol>	<p>&lt;日中活動や就労について&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>20. 外出頻度</li><li>21. 外出の際の同伴者</li><li>22. 外出の目的</li><li>23. 外出の際に困ること</li><li>24. 日中の主な過ごし方</li><li>25. 就労の勤務形態</li><li>26. 収入を得る仕事をしたいか</li><li>27. 職業訓練を受けたいか</li><li>28. 障がい者の就労支援に必要と思うこと</li></ol> <p>&lt;障害福祉サービス等の利用について&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>29. 障害の程度区分</li><li>30. 各サービスの利用状況と利用希望</li></ol> <p>&lt;相談相手について&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>31. 悩みや困り事の相談相手</li><li>32. 障害やサービスの情報を入手方法</li></ol> <p>&lt;権利擁護&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>33. 差別等の経験</li><li>34. 差別を受けたところ</li><li>35. 成年後見制度の周知度</li></ol> <p>&lt;災害時&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>36. 災害時に一人で避難できるか</li><li>37. 近所に助けてくれる人はいるか</li><li>38. 災害時に困ること</li></ol>
--	---

## ■ 調査概要 ■

### 1. 調査の目的

宮古島市障がい者計画及び障害福祉計画の見直しにあたり、障がい者を対象に生活状況やサービスの利用状況等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

### 2. 実施主体

宮古島市障がい福祉課

### 3. 調査対象者、配布方法

- ・身体障がい者：身体障害者手帳所持者のうち、65歳未満全員に配布。
- ・知的障がい者：療育手帳所持者 全員に配布。
- ・精神障がい者：通院医療費公費負担の受給者より抽出。

### 4. 配布方法

サービス利用者へは、事業所を通しての配布・回収。その他は郵送による配布・回収。

### 5. 調査期間

平成26年12月～3月。順次配布と回収をおこなった。

### 6. 回収状況

	配布件数	回収数	回収率
身体障がい者	930件	671件	72.2%
知的障がい者	421件	305件	72.4%
精神障がい者	191件	175件	91.6%
合計	1,542件	1,151件	74.6%

### 7. 調査票の回答者

	総数	本人	本人の家族	家族以外の 介助者	その他	無回答
身体障がい者	671件	395件 (58.9%)	163件 (24.3%)	47件 (7.0%)	8件 (1.2%)	58件 (8.6%)
知的障がい者	305件	86件 (28.2%)	132件 (43.3%)	41件 (13.4%)	14件 (4.6%)	32件 (10.5%)
精神障がい者	175件	113件 (64.6%)	37件 (21.1%)	14件 (8.0%)	2件 (1.1%)	9件 (5.1%)

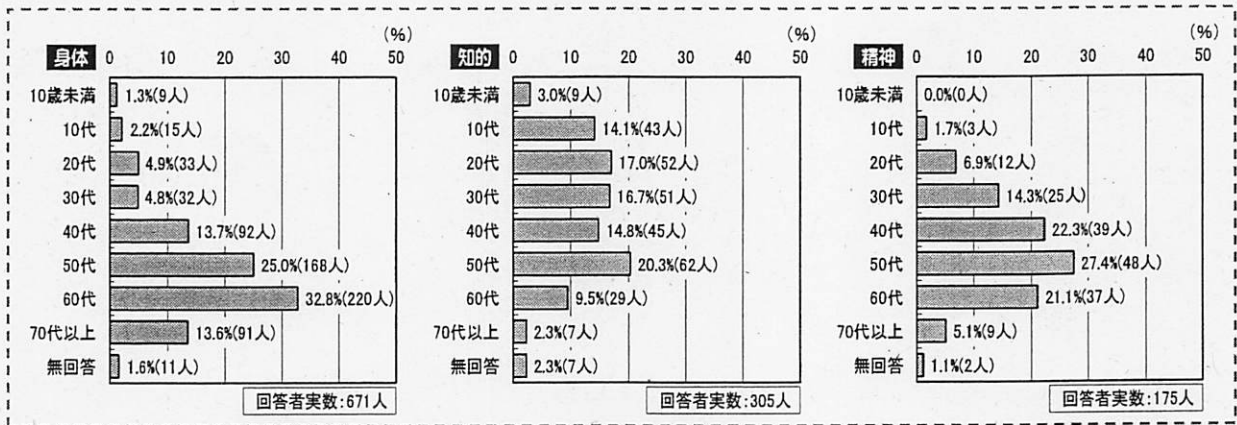
## ■ 調査結果より（抜粋／単純集計結果より） ■

### 1. 年齢

身体障がい者では、「60代」がもっとも高く32.8%、次いで「50代」の25.0%となっています。この2つの年代を合わせると5割を占めます。

知的障がい者では、「50代」が20.3%でもっとも高くなっていますが、「10代」から「40代」までがそれぞれ10%台半ばであり、身体障がい者で多かった「60代」は9.5%にとどまっています。

精神障がい者では、「50代」が27.4%でもっとも高く、「40代」、「60代」も約2割を占めています。

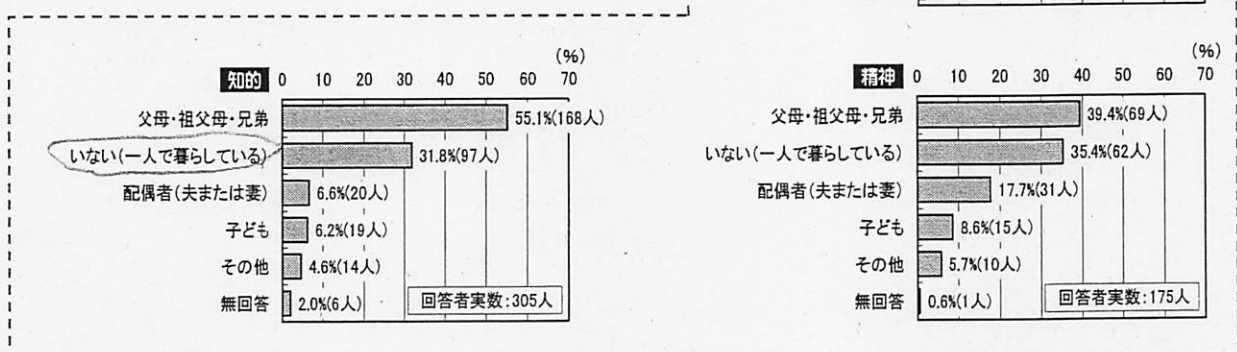


### 2. 一緒に暮らしている人

身体障がい者では、「配偶者」という回答が36.8%、「一人暮らし」が30.4%となっています。

知的障がい者では、「父母・祖父母・兄弟」が55.1%で半数を超えており、次いで「一人暮らし」が31.8%となっています。

精神障がい者では、「父母・祖父母・兄弟」が39.4%と約4割を占め、「一人暮らし」が35.4%とこれに次いでいます。

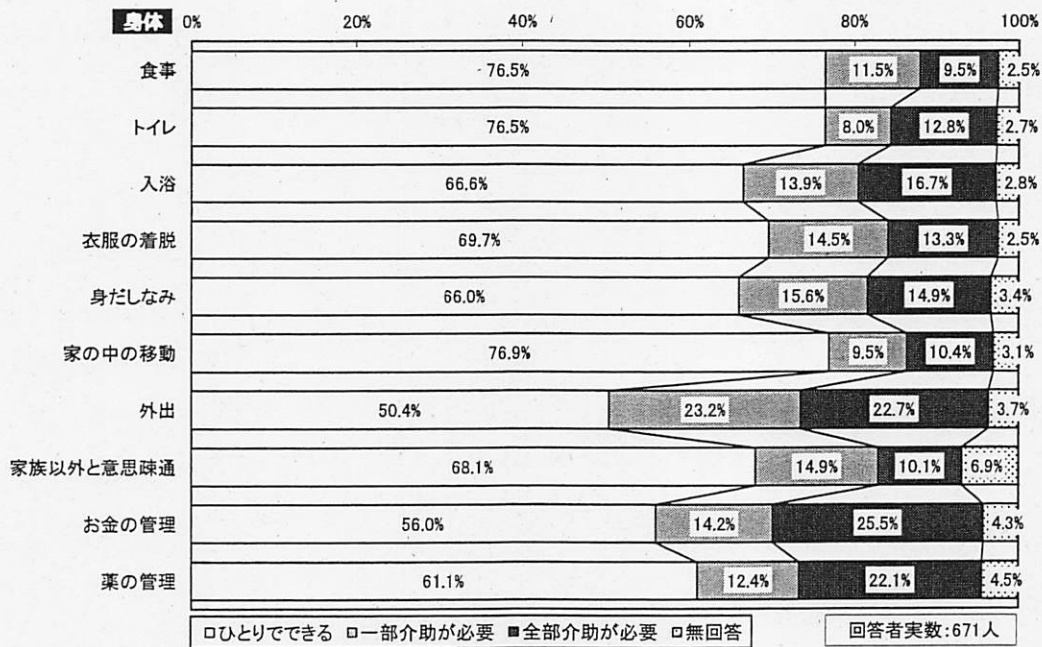


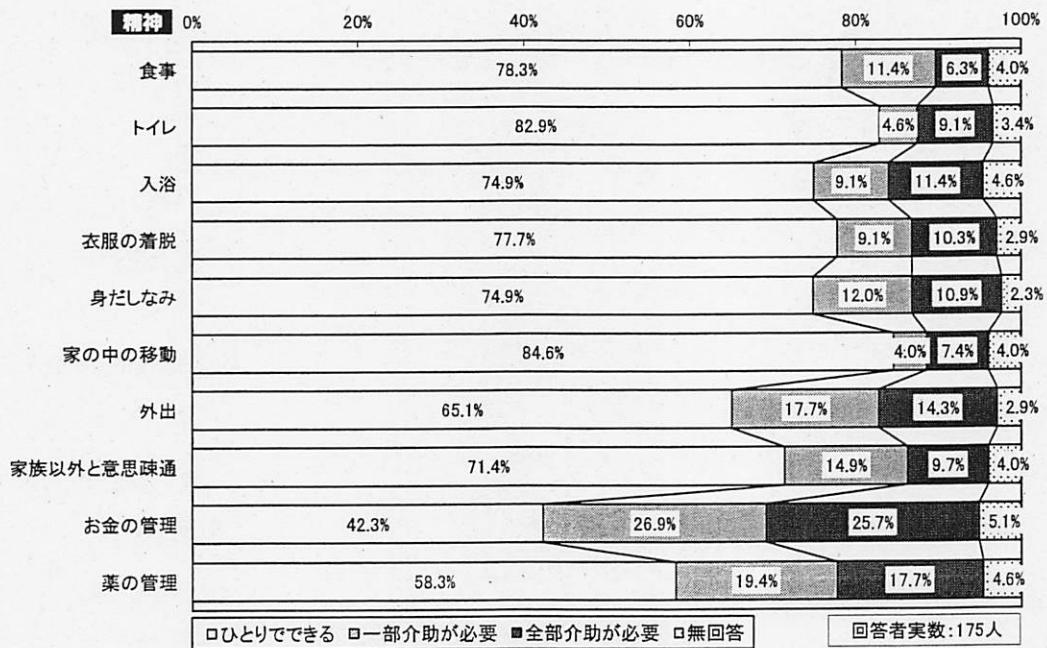
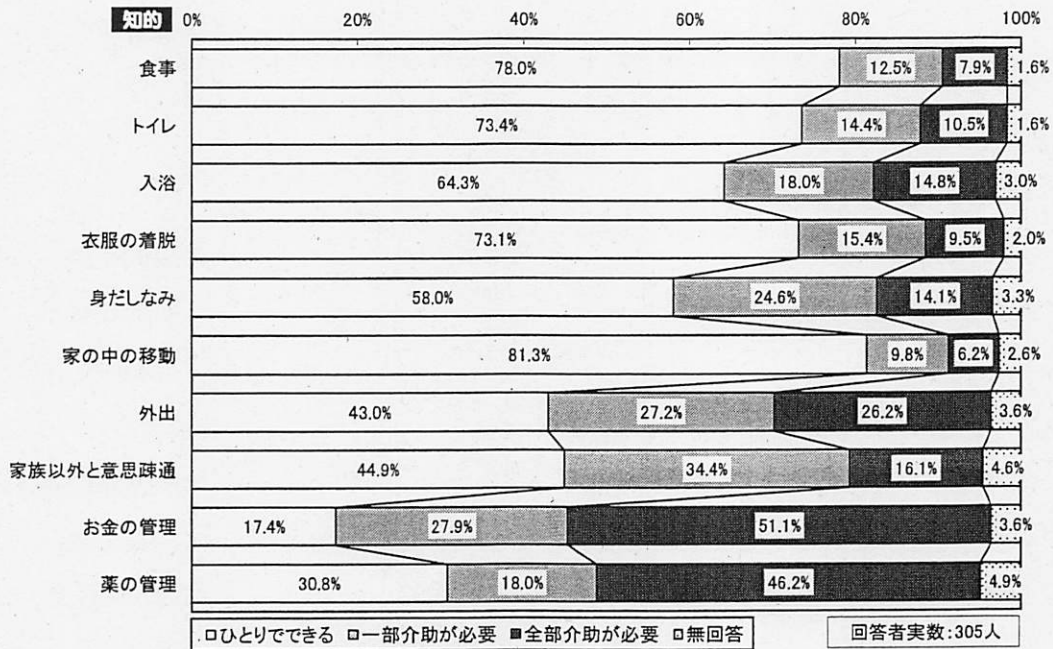
### 3. 日常生活動作

食事やトイレ、入浴などの日常生活動作について見ると、身体障がい者では、「ひとりでできる」という回答が「食事」、「トイレ」、「家の中の移動」は8割近くで非常に高く、また「入浴」、「衣服の着脱」、「身だしなみ」、「意思の疎通」が約7割となっています。「ひとりでできる」割合が低いのは、「外出」の50.4%、「お金の管理」の56.0%となっています。また、薬の管理は61.1%です。

知的障がい者では、「ひとりでできる」という回答が「食事」、「家の中の移動」は約8割、「トイレ」、「衣服の着脱」は約7割、「入浴」、「身だしなみ」が約6割ですが、それ以外は5割未満であり、身体障がい者と比較して「ひとりでできる」割合が低くなっています。中でも「お金の管理」は17.4%であり、2割に満たないです。

精神障がい者では、「ひとりでできる」という回答が「食事」、「トイレ」、「衣服の着脱」、「家の中の移動」は約8割、「入浴」、「身だしなみ」、「意思の疎通」、「外出」が約7割となっています。「ひとりでできる」割合がもっとも低いのは、「お金の管理」の42.3%、次いで低いのは「薬の管理」の58.3%となっています。

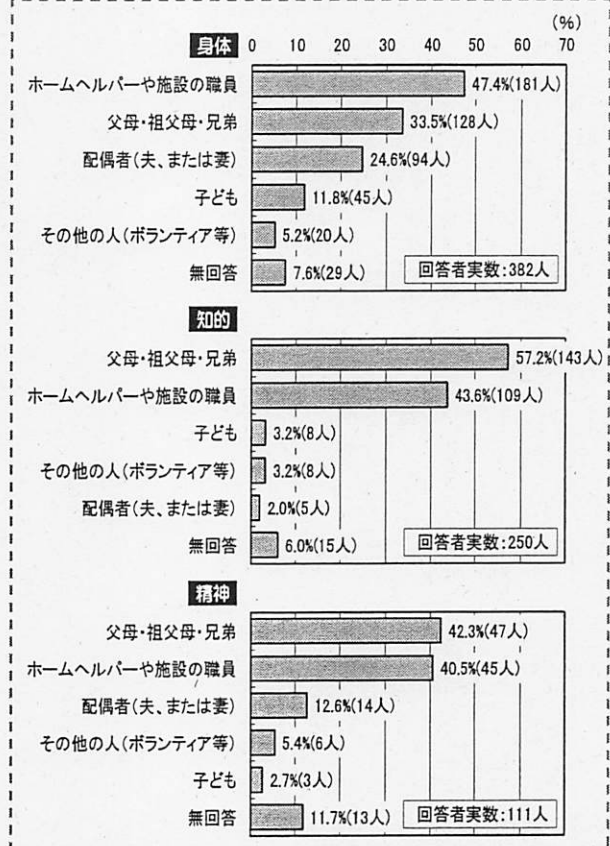






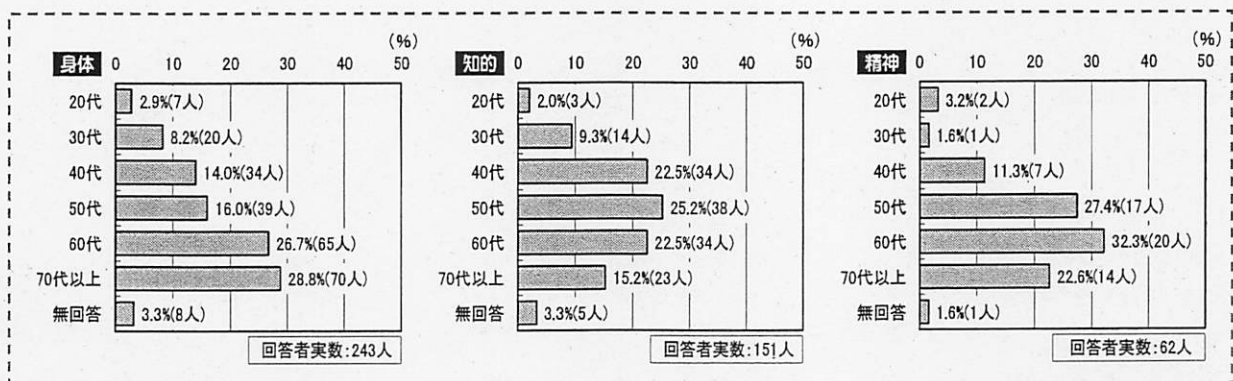
#### 4. 介助者について

3障害とも、「父母・祖父母・兄弟」と「ホームヘルパーや施設職員」という回答が多くなっている。特に、知的障がい者では、「父母・祖父母・兄弟」の割合が57.2%で3障害の中で最も高くなっている。身体障がい者では、その他に「配偶者」という回答もやや高い。しかし、精神障がい者では12.6%と1割程度にとどまっているほか、知的障がい者においては「配偶者」は2.0%と非常に低い。



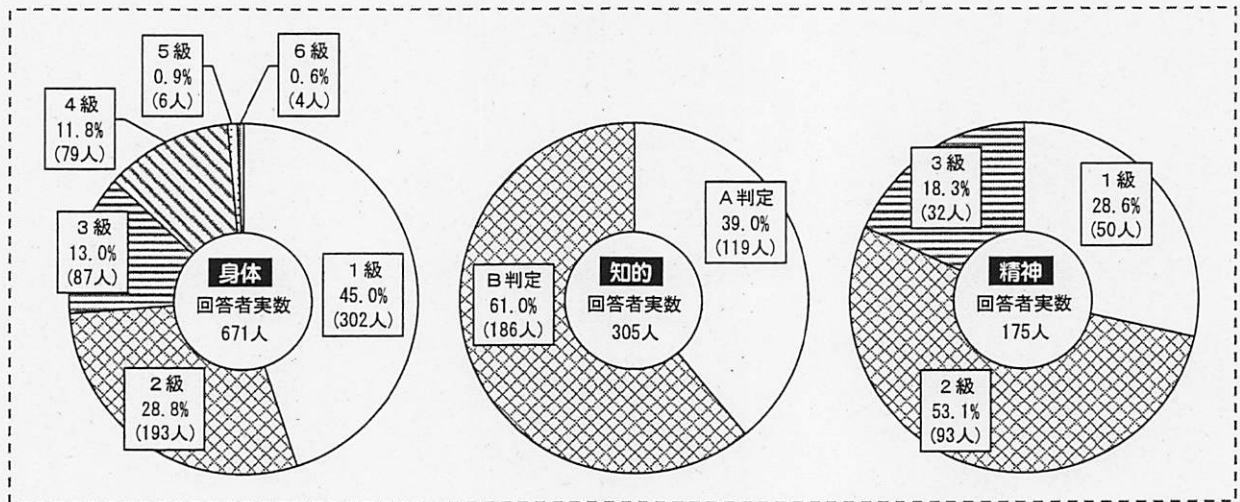
#### 5. 介助者の年齢

身体障がい者、精神障がい者では「60代」以上の高齢の方が介助している割合が比較的高い。身体障がい者では「60代」、「70代」がそれぞれ3割程度あり、60歳以上が約6割を占めている。知的障がい者では「40代」から「60代」がそれぞれ20%台、精神障がい者では「50代」と「60代」がそれぞれ約3割で高いほか、「70代以上」も2割を占めている。



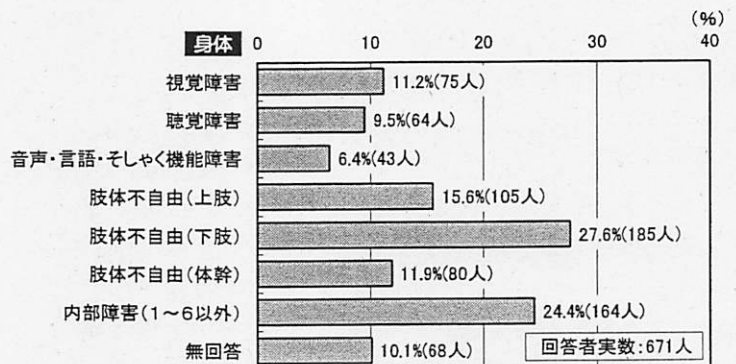
## 6. 手帳の所持状況

身体障害者手帳の等級を見ると、「1級」が45.0%と半数近くを占めているほか、「2級」が約3割でこれらを合わせた重度者7割に達しています。療育手帳所持者の判定は、「B判定」が約6割を占め、「A判定」は約4割です。精神障害者保健福祉手帳所持者の等級では、「2級」が半数を占めています。



## 7. 身体障がい者の障害部位

障害部位では、肢体不自由の方が5割を超えており、特に「下肢」が約3割となっています。また、「内部障害」も2割半ばで高くなっています。



## 8. 現在受けている医療ケア

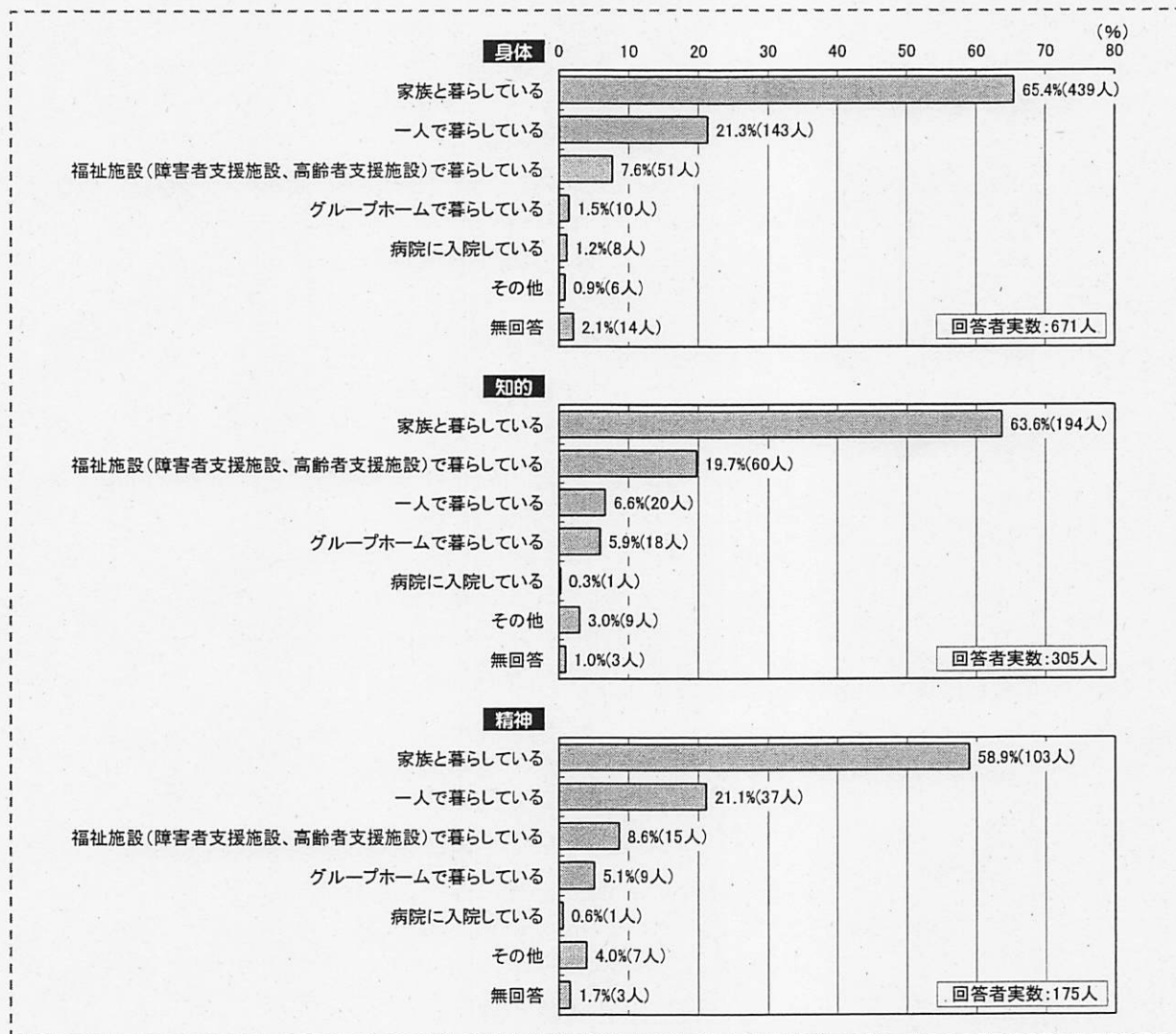
3障害とも「服薬管理」が3割弱で最も高くなっています。その他の医療ケアを受けている人は1割未満です。

	身体 (671人)	知的 (305人)	精神 (175人)
気管切開	3.1% (21人)	0.7% (2人)	1.7% (3人)
人工呼吸器 (レスピレーター)	1.0% (7人)	0.3% (1人)	4.0% (7人)
吸入	3.7% (25人)	1.3% (4人)	1.1% (2人)
吸引	4.2% (28人)	1.3% (4人)	1.1% (2人)
胃ろう・腸ろう	3.6% (24人)	0.7% (2人)	2.9% (5人)
鼻腔経管栄養	0.4% (3人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
中心静脈栄養 (IVH)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
透析	7.0% (47人)	1.0% (3人)	4.0% (7人)
カテーテル留置	2.1% (14人)	0.7% (2人)	0.6% (1人)
ストマ (人工肛門・人工膀胱)	2.1% (14人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)
服薬管理	27.7% (186人)	29.2% (89人)	25.1% (44人)
その他	18.9% (127人)	9.2% (28人)	9.1% (16人)
無回答	42.3% (284人)	60.7% (185人)	56.6% (99人)

## 9. 現在の暮らし

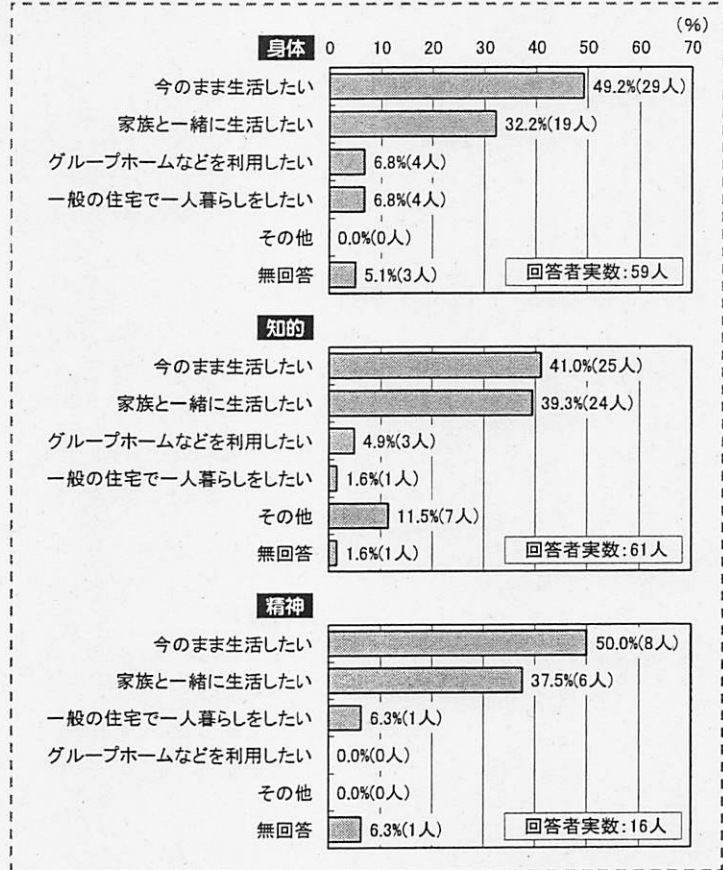
3障害とも「家族と暮らしている」という回答が圧倒的に高く、それぞれ6割前後を占めています。これに次いで高いのは、身体障がい者と精神障がい者では「一人暮らし」であり、知的障がい者では「福祉施設で暮らしている」の約2割となっています。

また、「グループホームで暮らしている」という回答は、知的障がい者、精神障がい者ではそれぞれ5～6%程度ですが、身体障がい者では1.5%となっています。



## 10. 将来の地域生活の意向

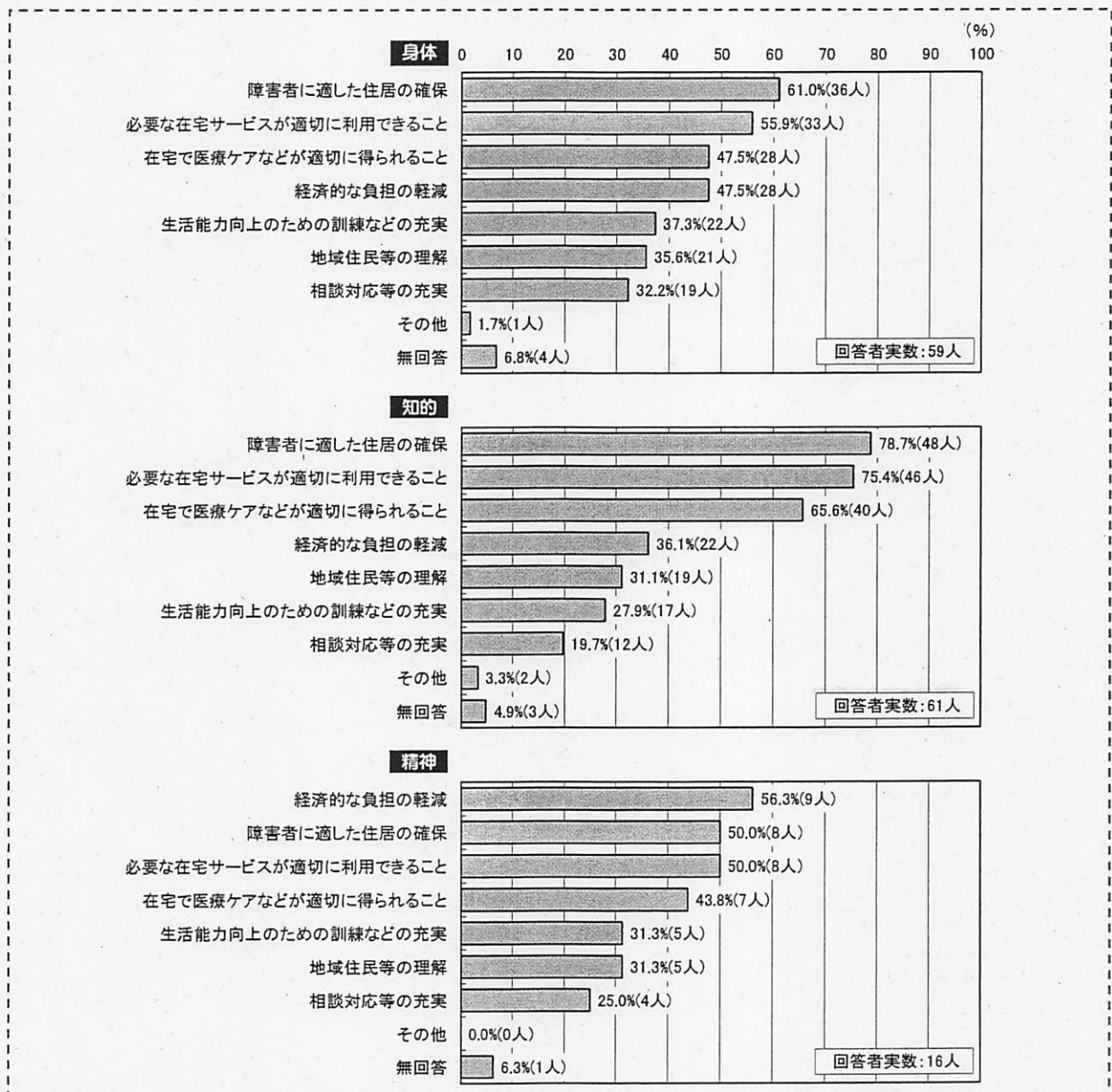
3障害とも「今のままの生活をした  
い」という回答が最も高く、身体障  
がい者、精神障がい者では5割、知的障  
がい者では4割を占めている。次いで高い  
のは「家族と一緒に生活したい」で知  
的障がい者と精神障がい者は約4割、身  
体障がい者は約3割となっている。



## 11. 地域で生活するために必要な支援

身体障がい者、知的障がい者ともに「障がい者に適した住居の確保」と「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が上位2つであり、身体障がい者では約6割、知的障がい者では約8割を占め非常に高くなっています。また、知的障がい者では「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」が7割近くを占めています。

精神障がい者では、「経済的な負担の軽減」が約6割で最も高いほか、2番目には身体、知的と同様に、“住居の確保”と“在宅サービスの利用”が挙げられています。

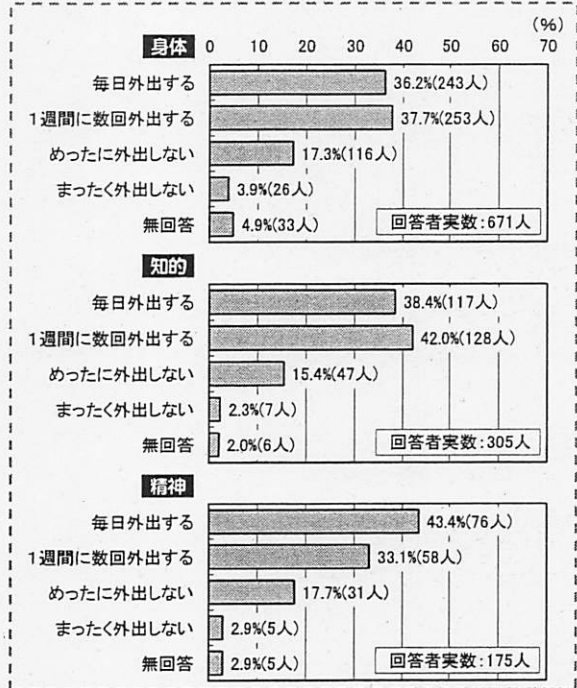


## 12. 外出頻度

外出は、「毎日」あるいは「週に数回程度」という回答が非常に高く、身体障がい者、知的障がい者ではそれぞれ約4割を占めています。

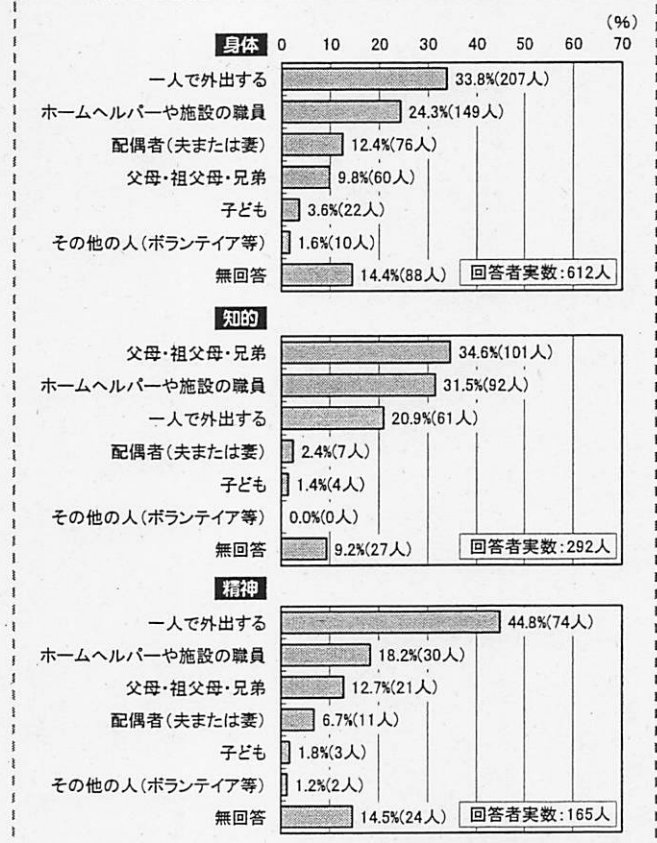
精神障がい者では、「毎日」が4割強、「週に数回程度」が約3割となっています。

約8割は外出が多く、約2割があまり外出しない傾向となっています。



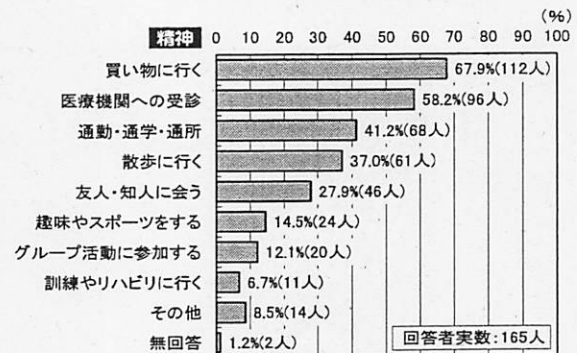
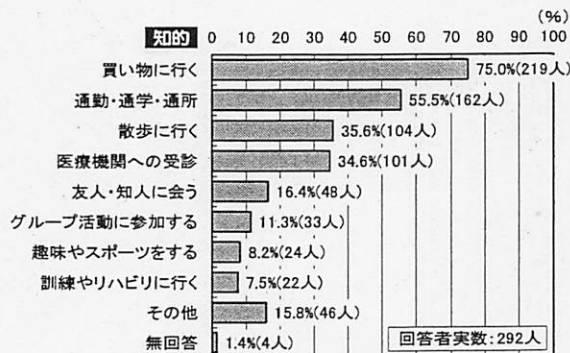
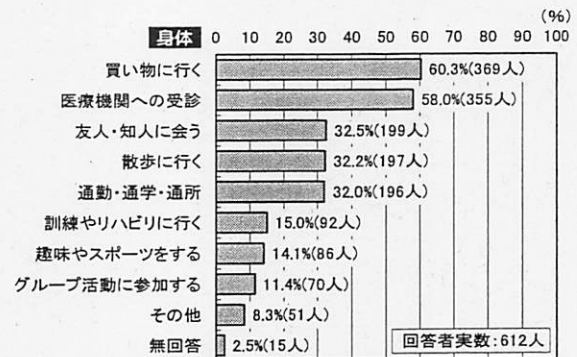
## 13. 外出時の同伴者

身体障がい者と精神障がい者では「一人で外出する」という回答がもっとも高く、身体障がい者では約3割、精神障がい者では4割半ばを占めています。知的障がい者では、「父母」などの親類や「ヘルパーや施設職員」という回答が3割程度となっています。



## 14. 外出の目的

3障害とも、「買い物」という回答が最も高く、身体障がい者では6割、知的障がい者と精神障がい者では7割前後占めています。身体障がい者と精神障がい者では、「医療機関」が2番目に高く、それぞれ約6割となっています。知的障がい者では「通勤・通学・通所」の5割半ばが2番目に高くなっています。



## 15. 外出時に困ること

身体障がい者では「道路の階段や段差」がもっとも高く約3割を占めているほか、「建物の設備が不便」といったバリアフリーに関する困り事があげられています。知的障がい者と精神障がい者では「困ったときにどうすればいいか心配」が約3割でもっとも高いほか、「公共交通機関が少ない(ない)」が2割程度となっています。また、精神障がい者では「外出にお金がかかる」と、金銭面での困り事も高くなっています。

	身体 (671人)	知的 (305人)	精神 (175人)
公共交通機関が少ない(ない)	17.2% (105人)	22.3% (65人)	23.0% (38人)
バスの乗り降りが困難	13.6% (83人)	11.0% (32人)	6.7% (11人)
道路に階段や段差が多い	27.5% (168人)	17.5% (51人)	17.0% (28人)
外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)	22.5% (138人)	13.4% (39人)	10.3% (17人)
介助者が確保できない	9.0% (55人)	14.7% (43人)	2.4% (4人)
外出にお金がかかる	14.5% (89人)	15.4% (45人)	25.5% (42人)
周囲の目が気になる	13.7% (84人)	12.3% (36人)	15.8% (26人)
発作など突然の身体の変化が心配	15.0% (92人)	8.2% (24人)	18.8% (31人)
困ったときにどうすればいいの心配	20.9% (128人)	28.8% (84人)	30.9% (51人)
その他	6.2% (38人)	4.5% (13人)	4.2% (7人)
無回答	27.0% (165人)	29.5% (86人)	26.1% (43人)



## 16. 日中の過ごし方

身体障がい者では「自宅」最も高く、約4割を占めています。また、「福祉施設や作業所」、「仕事」という回答が2割弱あります。知的障がい者では「福祉施設や作業所」が最も高く5割近くを占めています。また、「入所している施設や病院等」が2割あります。精神障がい者では、「福祉施設や作業所」が4割半ばを占めているほか、「自宅」も4割近くとなっています。

知的障がい者、精神障がい者では「仕事」の回答は1割程度と低くなっています。

	身体(671人)	知的(305人)	精神(175人)
会社勤めや自営業、家業などで収入を得て仕事をしている	16.5% (111人)	10.2% (31人)	9.1% (16人)
ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	1.2% (8人)	0.0% (0人)	1.1% (2人)
専業主婦(主夫)をしている	6.9% (46人)	1.6% (5人)	1.1% (2人)
福祉施設、作業所等に通っている(就労継続支援A型も含む)	17.6% (118人)	47.2% (144人)	45.7% (80人)
病院などのデイケアに通っている	4.2% (28人)	1.3% (4人)	6.9% (12人)
リハビリテーションを受けている	3.3% (22人)	1.0% (3人)	1.7% (3人)
自宅で過ごしている	39.9% (268人)	14.4% (44人)	36.6% (64人)
入所している施設や病院等で過ごしている	9.1% (61人)	20.7% (63人)	12.0% (21人)
特別支援学校(小中高等部)に通っている	1.8% (12人)	12.5% (38人)	1.1% (2人)
一般の高校、小中高校に通っている	0.4% (3人)	2.0% (6人)	0.0% (0人)
幼稚園、保育所、障害児通園施設などに通っている	1.0% (7人)	1.3% (4人)	0.0% (0人)
その他	3.6% (24人)	1.6% (5人)	4.6% (8人)
無回答	3.3% (22人)	0.7% (2人)	0.0% (0人)

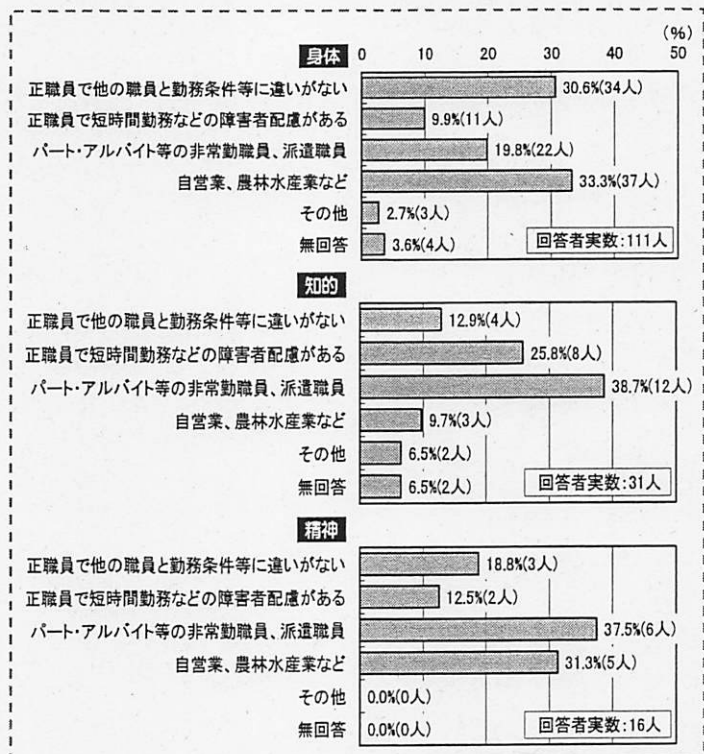
## 17. 就労の状況

仕事をしている人に就労形態を尋ねたところ、身体障がい者では、「正職員(フルタイム)」と「自営業・農林水産業など」がそれぞれ約3割となっています。

知的障がい者では「パート・アルバイト」が約4割、「正職員(短時間勤務)」が2割半ばを占めています。

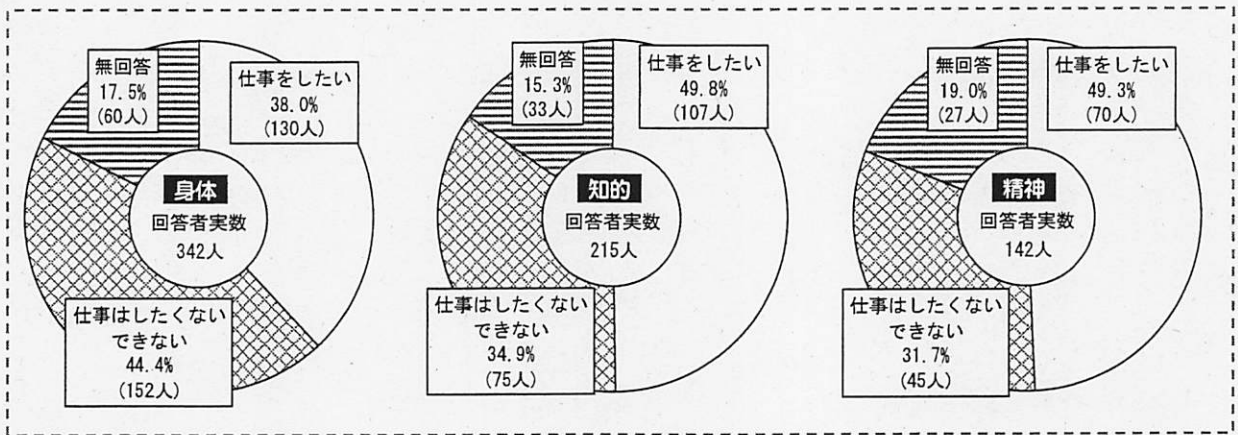
精神障がい者では、「パート・アルバイト」が4割近くを占めているほか、「自営業・農林水産業」が3割あります。

知的障がい者と精神障がい者では、「正職員(フルタイム)」がそれぞれ1割、2割となっています。



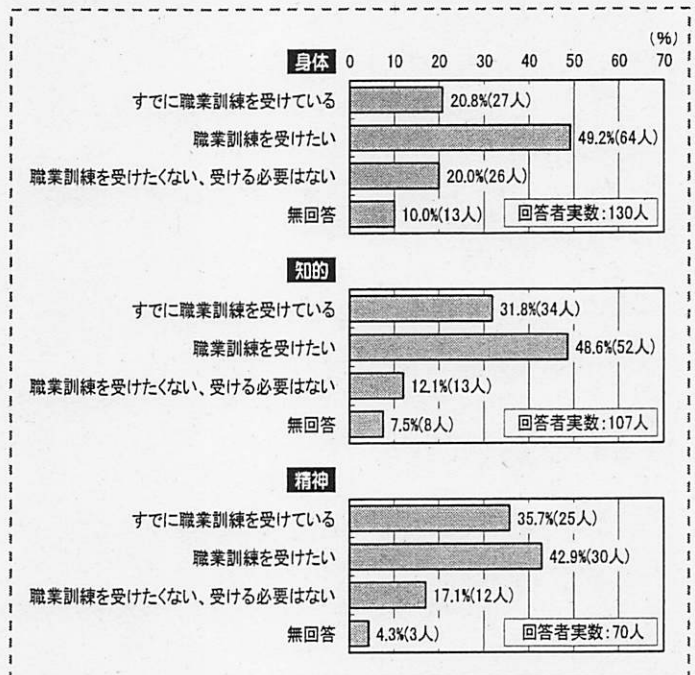
## 18. 就労意向

「仕事をしたい」という回答は、身体障がい者で約4割、知的障がい者と精神障がい者ではそれぞれ約5割を占めています。身体障がい者では高齢者が多いため、就労希望が低いものと考えられます。



## 19. 職業訓練の受講の意向

「職業訓練を受けたい」という回答は、身体障がい者と知的障がい者では約5割、精神障がい者では4割程度を占めています。また、「すでに職業訓練を受けている」という回答は、身体障がい者で2割、知的障がい者、精神障がい者では3割程度となっています。



## 20. 障がい者の就労支援で必要なこと

3 障害ともに「職場の理解」が最も高くなっており、身体障がい者では約 3 割、知的障がい者と精神障がい者では、4 割半ばを占めています。

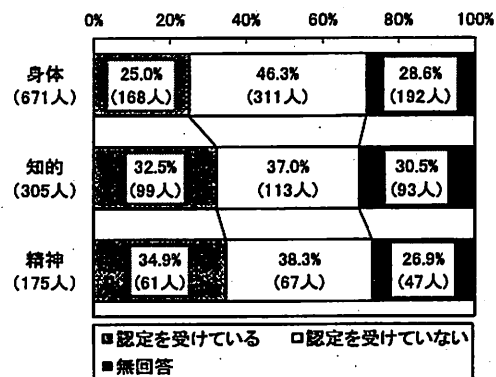
知的障がい者と精神障がい者では、そのほかに「通勤手段の確保」も高く、約 4 割となっています。また、知的障がい者では、「職場での介助や援助」も 4 割を占めています。

	身体(671人)	知的(305人)	精神(175人)
通勤手段の確保	21.9% (147人)	42.3% (129人)	38.3% (67人)
勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	20.4% (137人)	23.6% (72人)	13.1% (23人)
短時間勤務や勤務日数等の配慮	23.7% (159人)	30.5% (93人)	33.7% (59人)
在宅勤務の拡充	17.0% (114人)	12.8% (39人)	20.0% (35人)
職場の上司や同僚に障害の理解があること	31.3% (210人)	44.3% (135人)	44.0% (77人)
職場で介助や援助等が受けられること	19.8% (133人)	40.0% (122人)	24.0% (42人)
就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	16.7% (112人)	32.5% (99人)	29.7% (52人)
企業ニーズに合った就労訓練	12.7% (85人)	28.5% (87人)	20.0% (35人)
仕事についての職場外での相談対応、支援	19.1% (128人)	28.9% (88人)	32.0% (56人)
その他	6.0% (40人)	3.9% (12人)	5.1% (9人)
無回答	42.6% (286人)	23.0% (70人)	27.4% (48人)

## 21. 区分認定を受けているか

区分認定を受けている人は、身体障がい者では2割半ば、知的障がい者と精神障がい者では3割程度となっています。

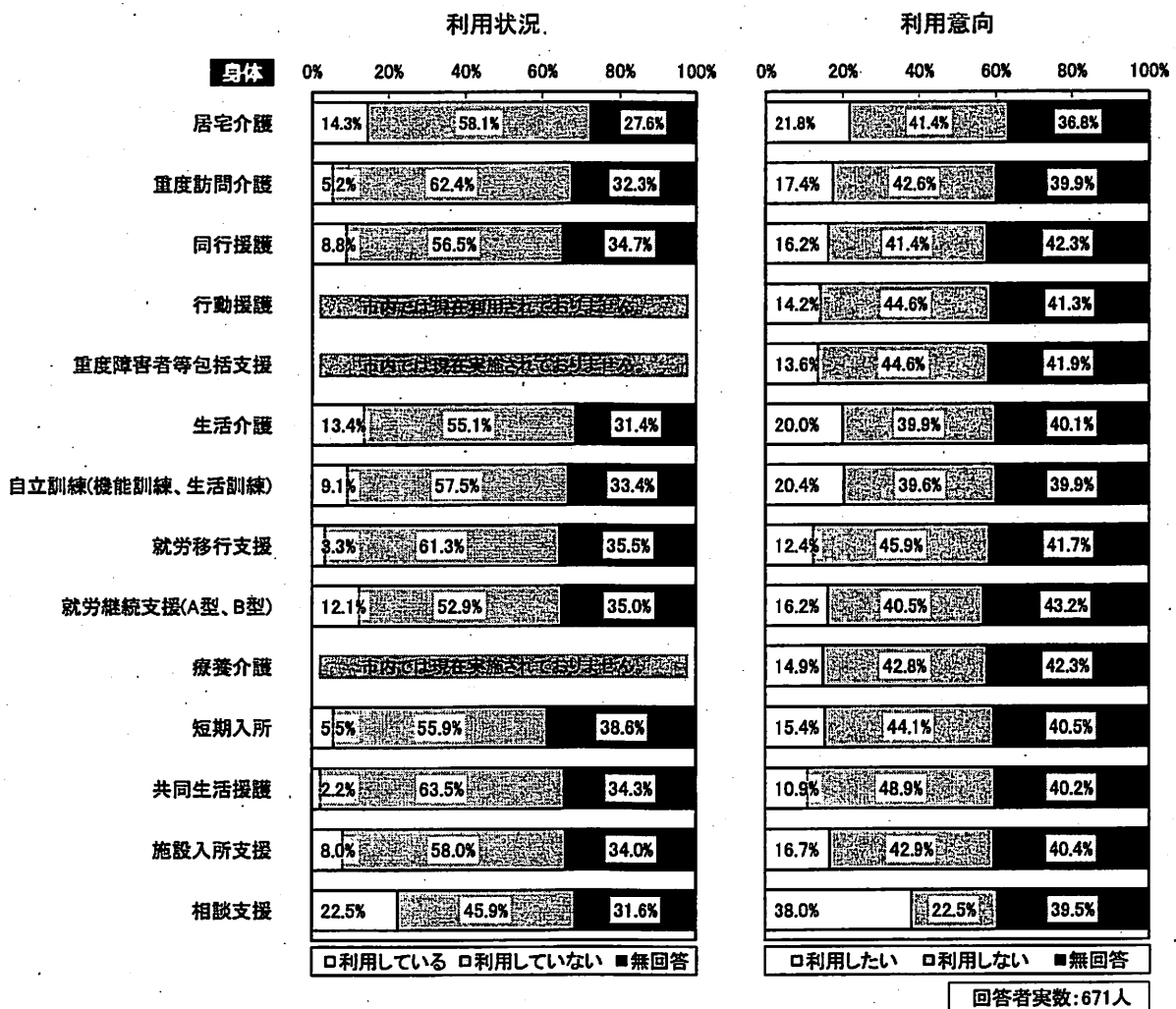
	身体(671人)	知的(305人)	精神(175人)
区分1	4.5% (30人)	0.7% (2人)	5.7% (10人)
区分2	3.9% (26人)	7.5% (23人)	12.0% (21人)
区分3	5.5% (37人)	7.5% (23人)	6.3% (11人)
区分4	1.6% (11人)	3.3% (10人)	1.1% (2人)
区分5	4.6% (31人)	8.5% (26人)	5.7% (10人)
区分6	4.9% (33人)	4.9% (15人)	4.0% (7人)
受けてない	46.3% (311人)	37.0% (113人)	38.3% (67人)
無回答	28.6% (192人)	30.5% (93人)	26.9% (47人)



## 22. 障害福祉サービスの利用状況と利用意向

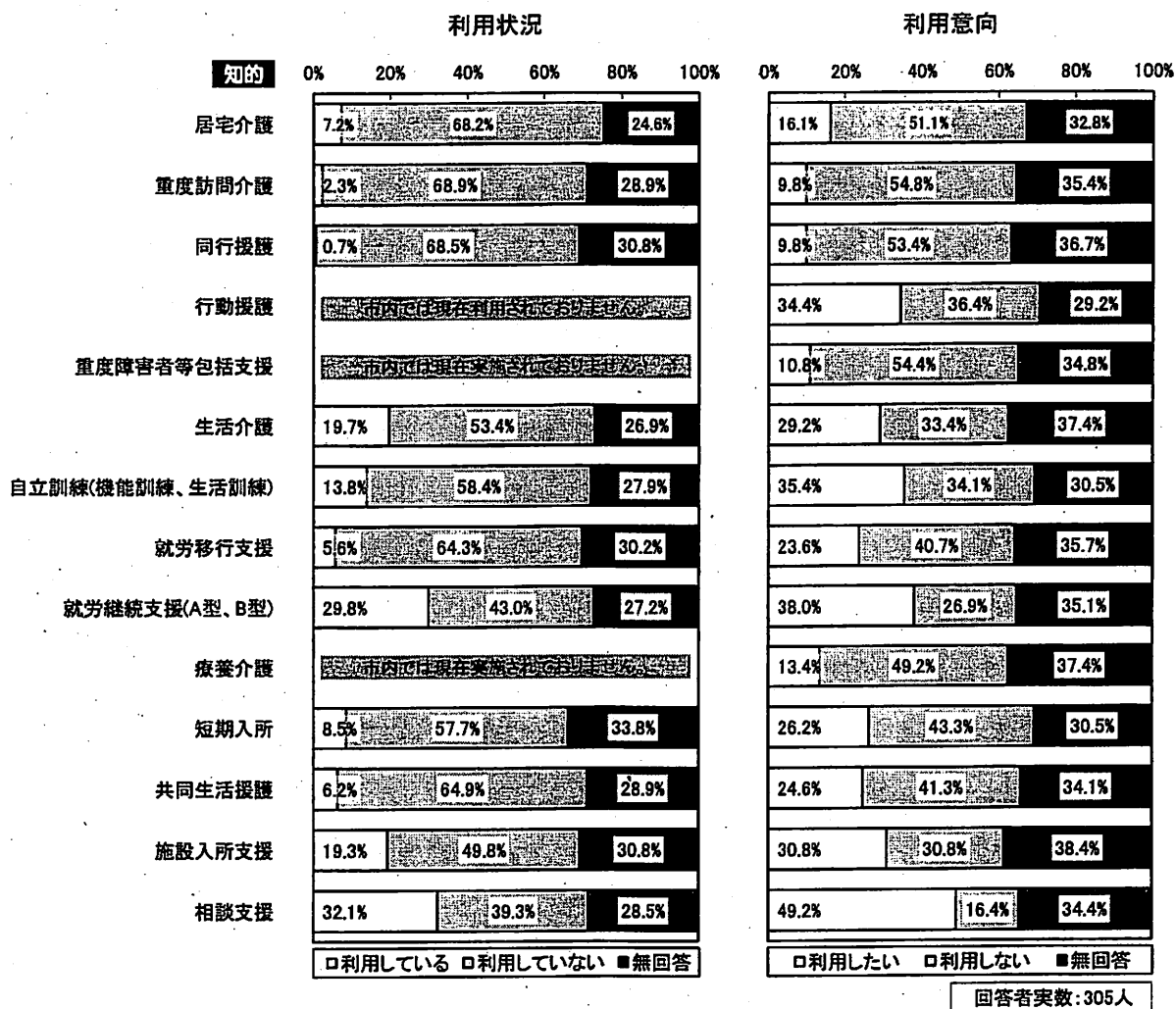
身体障がい者の利用状況を見ると、「利用している」という回答は、「相談支援」が約2割であるほかは、「居宅介護」、「生活介護」、「就労継続支援」が1割前半であり、その他のサービスは1割未満に留まっています。

今後の利用意向では「利用したい」という回答が各サービスとも現在の「利用している」割合を上回っています。最も意向が高いのは「相談支援」の約4割で、そのほか「居宅介護」、「生活介護」、「自立訓練」が2割で比較的高くなっています。「重度訪問介護」や「自立訓練」「短期入所」は10ポイント程度の伸びを示しています。



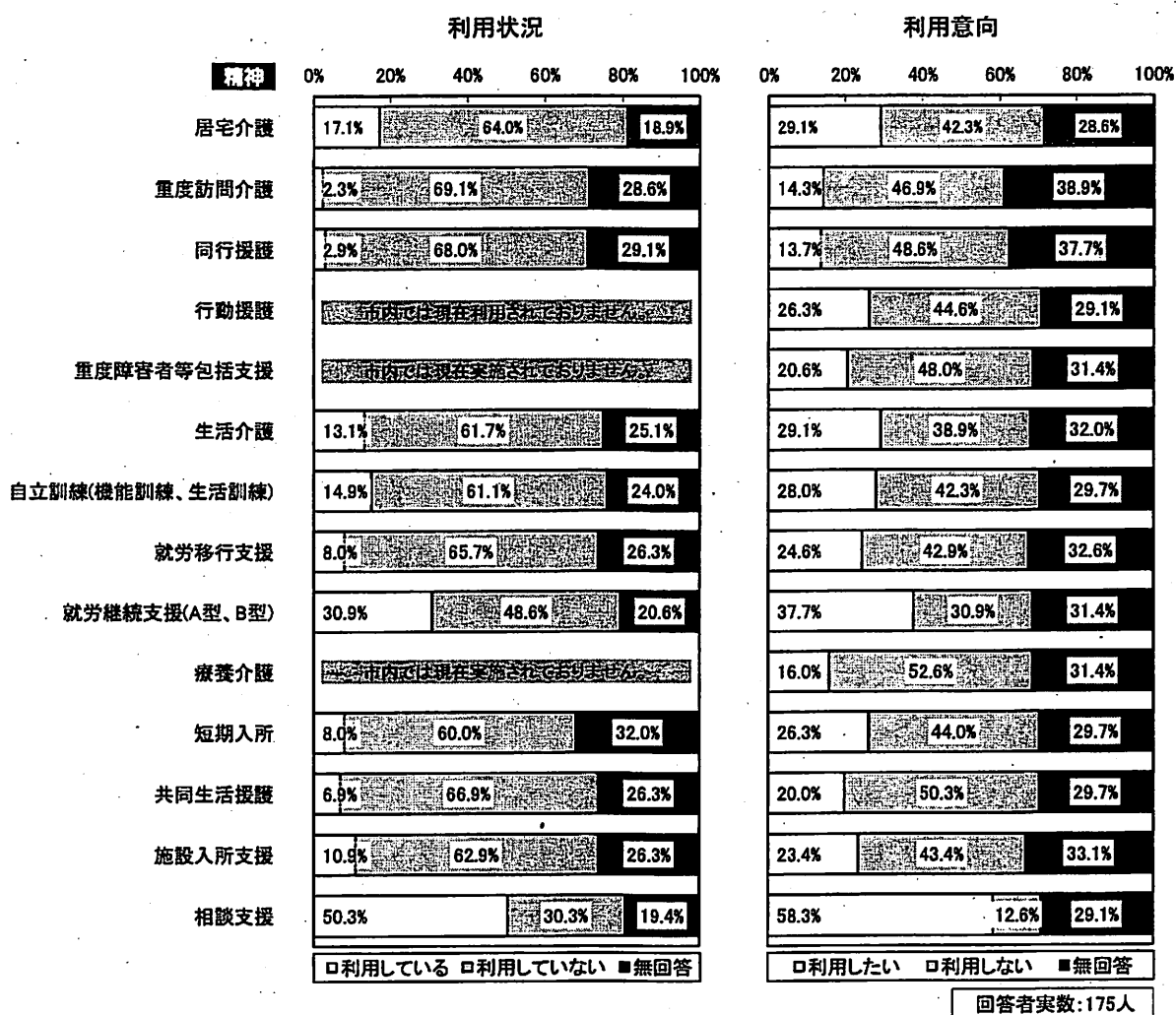
知的障がい者の利用状況を見ると、「利用している」という回答は、「相談支援」と「就労継続支援」が約3割で非常に高くなっている。また、「生活介護」、「施設入所支援」が約2割を占め、比較的高くなっています。

今後の利用意向では「利用したい」という回答が各サービスとも現在の「利用している」割合を上回っています。最も意向が高いのは「相談支援」の約5割で、次いで「就労継続支援」の約4割となっています。そのほか「行動援護」、「自立訓練」、「生活介護」、「施設入所支援」が3割台で比較的高くなっています。特に「行動援護」は現在サービス提供が実施されていませんが利用意向が高いです。



精神障がい者の利用状況を見ると、「利用している」という回答は、「相談支援」が5割でもっとも高く、次いで「就労継続支援」の3割となっています。また、「居宅介護」、「生活介護」、「施設入所支援」が1割台でやや高くなっています。

今後の利用意向では「利用したい」という回答が各サービスとも現在の「利用している」割合を上回っています。最も意向が高いのは「相談支援」の約6割で、次いで「就労継続支援」の約4割となっています。そのほか「居宅介護」、「行動援護」、「生活介護」、「自立訓練」、「短期入所」など、多くのサービスが2割台という結果でした。

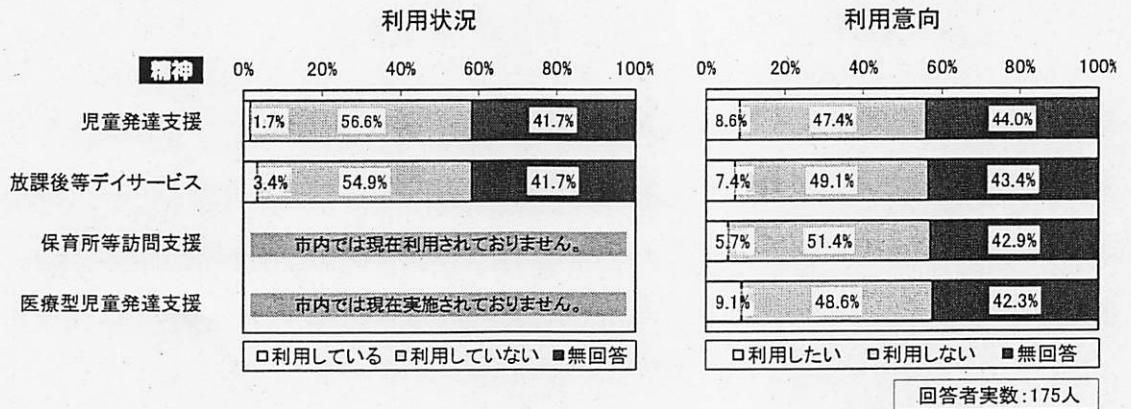
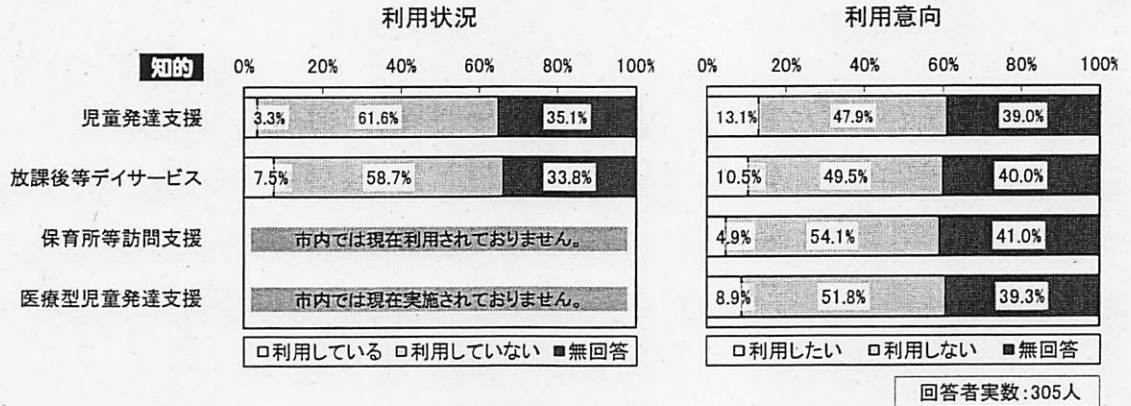
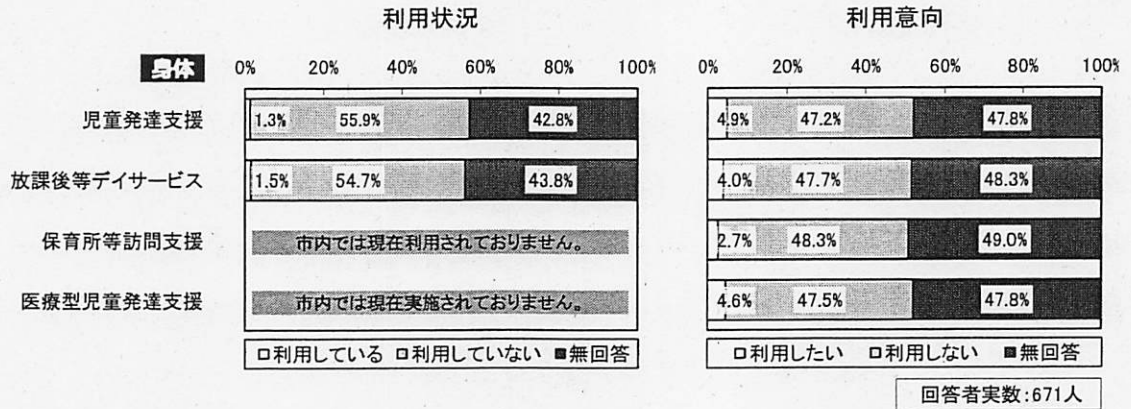


## 23. 障がい児サービスの利用状況と利用意向

障がい児サービスの利用状況を見ると、「利用している」という回答は、3障害の中では知的障がい者がやや高く、「児童発達支援」は3.3%、「放課後等デイサービス」は7.5%となっています。

今後の利用意向では「利用したい」という回答が、特に知的障がい者で高く、「児童発達支援」、「放課後等デイサービス」ともに10%前半となっています。

今回の集計は全年齢を対象とした結果になっており、今後、18歳未満のみの集計結果を示します。





## 24. その他のサービスの利用状況と利用意向

「福祉型児童入所施設」、「医療型児童入所施設」については、今回の集計では18歳以上も含まれているため、今後年齢別クロス集計結果を示します。

「障害者就業・生活支援センター」は、現在は精神障がい者で10%半ばの利用があり、精神障がい者と知的障がい者では5%程度となっています。

利用意向では、知的障がい者、精神障がい者で約3割の希望があり、ニーズは高くなっています。



## 25. 相談先

3障害ともに「家族や親戚」という回答がもっとも高く、身体障がい者、精神障がい者では6割前後、知的障がい者では約7割を占めています。そのほか、知的障がい者では「施設の指導員など」という回答が4割、精神障がい者では「施設の指導員など」、「かかりつけの医師や看護師」が3割半ばで、比較的高くなっています。

	身体(671人)	知的(305人)	精神(175人)
家族や親せき	63.0% (423人)	67.2% (205人)	57.7% (101人)
友人・知人	25.9% (174人)	14.8% (45人)	22.9% (40人)
近所の人	3.3% (22人)	2.6% (8人)	2.3% (4人)
職場の上司や同僚	6.6% (44人)	11.5% (35人)	17.1% (30人)
施設の指導員など	15.1% (101人)	43.0% (131人)	34.9% (61人)
ホームパターなどサービス事業所の人	14.0% (94人)	6.9% (21人)	17.1% (30人)
障害者団体や家族会	4.0% (27人)	3.0% (9人)	2.3% (4人)
かかりつけの医師や看護師	27.7% (186人)	15.4% (47人)	35.4% (62人)
病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	9.1% (61人)	0.7% (2人)	4.0% (7人)
民生委員・児童委員	0.9% (6人)	0.7% (2人)	1.1% (2人)
通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生	1.8% (12人)	6.6% (20人)	2.3% (4人)
相談支援事業所などの民間の相談窓口	8.6% (58人)	15.1% (46人)	26.9% (47人)
行政機関の相談窓口	6.1% (41人)	5.9% (18人)	14.3% (25人)
その他	3.7% (25人)	3.0% (9人)	5.7% (10人)
無回答	11.5% (77人)	8.5% (26人)	6.3% (11人)

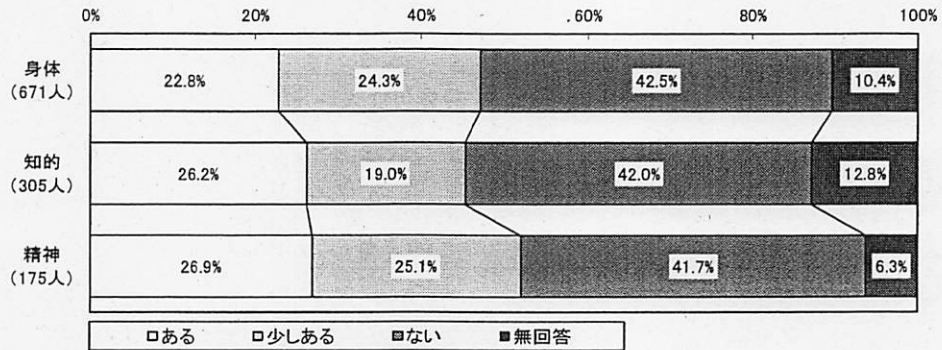
## 26. 情報の入手方法

「家族や親戚など」、「サービス事業所や施設職員」、「本や新聞、雑誌、テレビ・ラジオ」という回答が比較的高く、身体障がい者ではそれぞれ3割台、精神障がい者ではそれぞれ4割前後です。知的障がい者では、「サービス事業所や施設職員」が5割を占め、非常に高くなっています。

	身体(671人)	知的(305人)	精神(175人)
本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	37.6% (252人)	27.9% (85人)	36.6% (64人)
行政機関の広報誌	18.3% (123人)	18.0% (55人)	14.3% (25人)
インターネット	8.5% (57人)	4.9% (15人)	8.0% (14人)
家族や親せき、友人・知人	34.3% (230人)	29.5% (90人)	36.0% (63人)
サービス事業所の人や施設職員	32.6% (219人)	51.5% (157人)	44.6% (78人)
障害者団体や家族会(団体の機関誌など)	7.9% (53人)	6.9% (21人)	4.6% (8人)
かかりつけの医師や看護師	21.0% (141人)	9.8% (30人)	26.9% (47人)
病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	11.2% (75人)	3.6% (11人)	6.9% (12人)
民生委員・児童委員	0.9% (6人)	0.7% (2人)	0.0% (0人)
通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生	1.5% (10人)	6.9% (21人)	2.9% (5人)
相談支援事業所などの民間の相談窓口	9.2% (62人)	13.8% (42人)	25.1% (44人)
行政機関の相談窓口	10.6% (71人)	4.9% (15人)	12.0% (21人)
その他	2.4% (16人)	2.6% (8人)	2.9% (5人)
無回答	11.8% (79人)	14.1% (43人)	10.9% (19人)

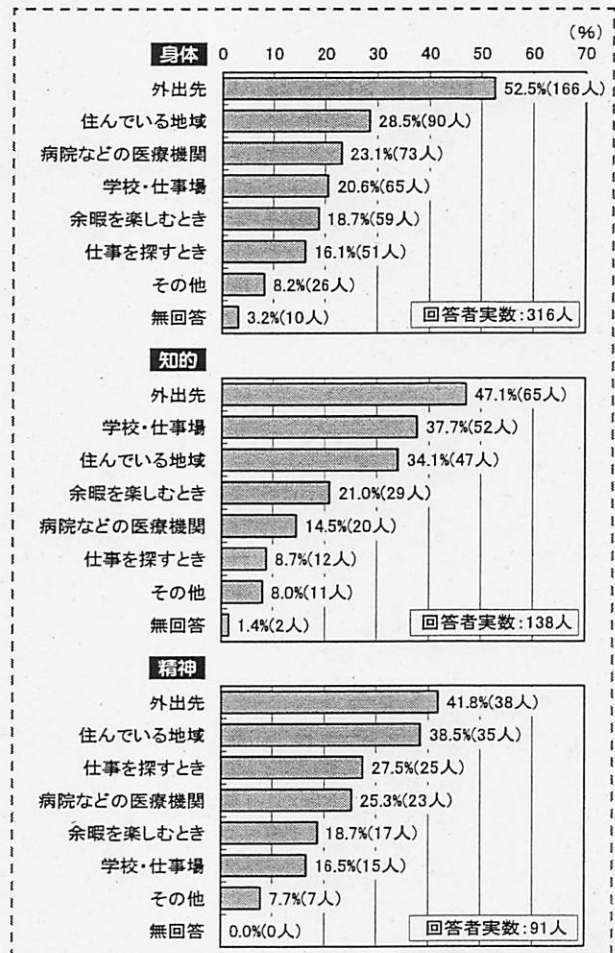
## 27. 差別を受けたこと

差別を受けたことが「ある」という回答は2割台、「少しある」という回答も2割前後となっています。これらを合わせると、半数程度の障がい者が、差別経験があることがわかります。



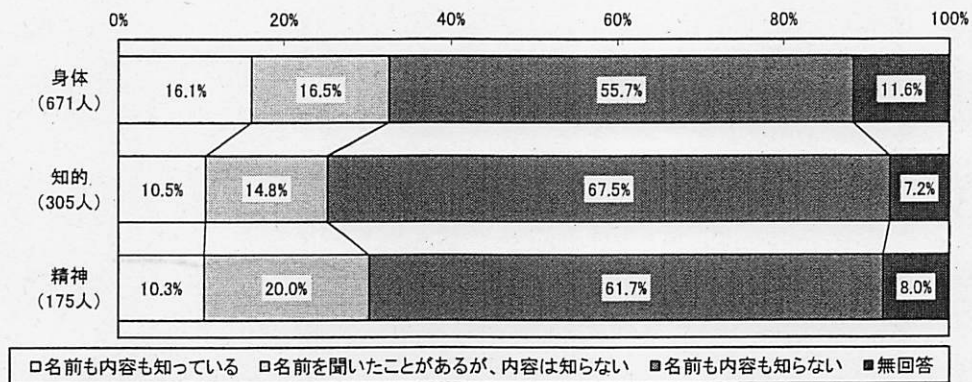
## 28. 差別を受けた場所

差別を受けたのは「外出先」が身体障がい者、知的障がい者では5割程度、精神障がい者でも4割を占めています。また知的障がい者では「学校・仕事場」、精神障がい者では「住んでいる地域」が約4割あります。



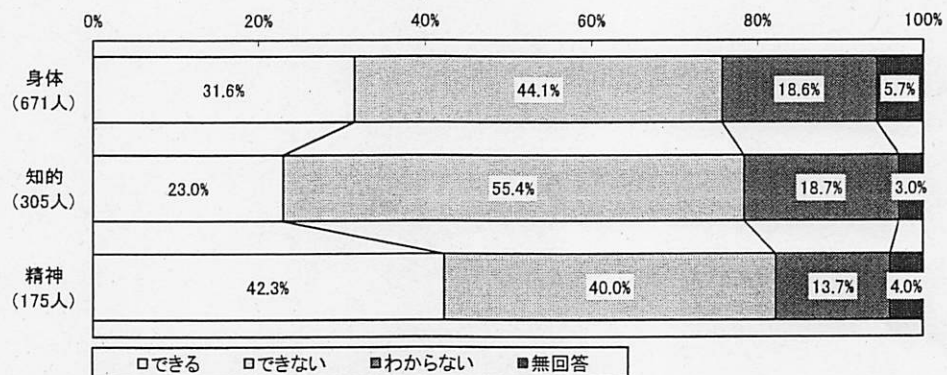
## 29. 成年後見制度の周知度

成年後見制度を「知っている」人は3割程度です。「名前も内容も知っている」という回答は、1割程度、「名前は聞いたことがある」は2割弱となっています。制度の周知度は非常に低い状況にあります。



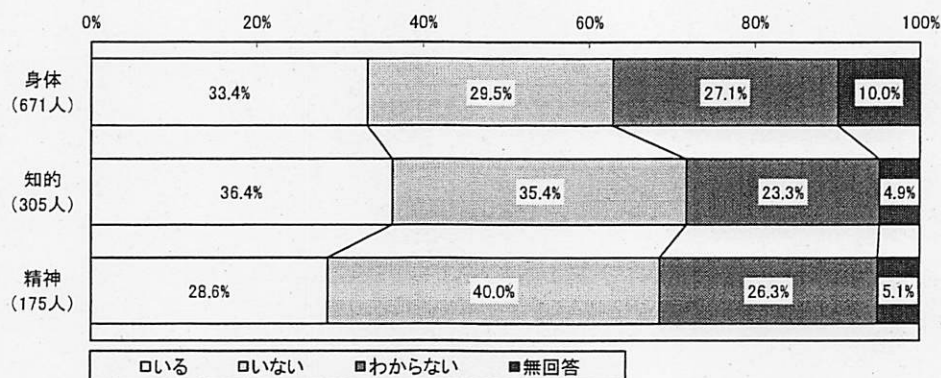
## 30. 災害時の避難

災害時に自分で避難「できる」という回答は、精神障がい者では4割を占めるものの、身体障がい者では3割、知的障がい者では2割程度に留まっています。



### 31. 近所に助けてくれる人はいるか

災害時の避難援助について、近所に助けてくれる人がいるか尋ねたところ、「いる」という回答は身体障がい者、精神障がい者では3割前後、知的障がい者では4割弱となっています。



### 32. 災害時に困ること

身体障がい者では「迅速に避難することができない」が約5割で最も高いほか、「避難場所の設備や生活環境」が約4割を占めています。

知的障がい者では「迅速に避難することができない」が6割を占めて非常に高いほか、救助を求めたり情報を入手したり、周囲とのコミュニケーションなどで困るという割合が高くなっています。

精神障がい者では、「投薬や治療が受けられない」といった医療的な点や「被害、避難場所などの情報が入手できない」という回答が約4割となっています。

	身体(671人)	知的(305人)	精神(175人)
投薬や治療が受けられない	31.7% (213人)	21.0% (64人)	40.6% (71人)
紙おむつやストマ用品の入手ができなくなる	13.1% (88人)	9.8% (30人)	10.3% (18人)
救助を求めることができない	27.0% (181人)	45.6% (139人)	25.7% (45人)
安全なところまで、迅速に避難することができない	49.6% (333人)	61.6% (188人)	40.0% (70人)
被害状況、避難場所などの情報が入手できない	29.1% (195人)	40.7% (124人)	36.0% (63人)
周囲とコミュニケーションがとれない	22.5% (151人)	37.0% (113人)	24.0% (42人)
避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安	39.5% (265人)	35.4% (108人)	31.4% (55人)
停電等で在宅医療機器が使えなくなる	13.3% (89人)	7.2% (22人)	14.9% (26人)
その他	2.2% (15人)	2.6% (8人)	5.1% (9人)
特になし	14.0% (94人)	12.1% (37人)	20.6% (36人)
無回答	11.0% (74人)	8.9% (27人)	8.0% (14人)